

## 「高齢者住宅新聞」網谷社長に伺いました

### ～高齢者介護と住宅/施設をとりまく現状と課題～

今月は「高齢者住宅新聞」や「エルグリーブス」等の紙誌で広く介護に関わる情報を発信されている高齢者住宅新聞の網谷社長にお話を伺いました。

Q: 網谷社長、ありがとうございます。4年ぶり3度目の登場になりますがこの4年間で高齢者を取り巻く介護・施設に関わる環境はどのように変化をしたのでしょうか？

網谷: 状況は4年前から懸念されていたことがそのまま現状の「介護3大不足」を招いていると考えられます。

Q: なるほど「介護3大不足」…、分かりやすく説明して頂けますか？

網谷: 一つ目が「お金がない」です。その通り「財源の不足」です。補うには「抑制」もしくは「財源確保」しかありません。2015年の改訂では事業者の介護報酬は2.27%減になりました。また「福祉用具」他一部のサービスについて制限がかかりました。特に介護事業者の収入減は職員の処遇に繋がり、サービスの質の低下や、人材確保難…と、様々な問題が派生するだろうと考えられます。「財源確保」に関しては2015年の8月から介護サービスを利用する際の自己負担額アップが65歳以上の所得上位20%にあたる年間所得160万円以上の方を対象に、自己負担2割になりました。負担率に関しては更に「現役並み所得相当」の方については3割り負担も視野にいられています。

そして二つ目は「サービスが足りない」です。厚労省が推進する、在宅介護を中心に据える「地域包括ケア」がありつつ、安倍政権は「新三本の矢」で「介護離職ゼロ」と併せて具体的な施策として、介護施設の増設を掲げています。15万人とも言われる特別養護老人ホーム待機者解消に向け2020年代初めまでに様々な形態の施設で38万床を50万床に増やすというものです。一方、介護保険制度の見直しでは特養入所のための要件などが変わり、それまで全要介護レベルの方が対象者となっていたものを「原則要介護3以上」に限定しました。セーフティネットとして低所得者でも入所が可能である特別養護老人ホームであるからこそもう一度その在り方について考えてみる時期にきているのかもしれない。

そして最後が「人手が足りない」です。今回は「何故人手不足か」には触れませんが、現状では人材不足や離職率の高さ、現場スタッフの賃金低下対策といった労働環境の改善のための政策として「介護職員処遇改善加算」が国から支給されていますが、更に人材確保の方策として①外国人技能実習制度を利用しての外国人労働者の登用に門戸を開く②女性の働ける環境づくり<保育園、職場内託児所等の充実>③リタイアした高齢者の登用④ICTの活用やIoTの導入による業務軽減等が策定に向け進んでいます。

Q: ありがとうございます。これらの現状を踏まえての高齢者の住まいのあり方、選び方とは？

網谷: 高齢者の住まいはざっくり分けるとすればいわゆる「施設系」と言われる「介護老人福祉施設<特別養護老人ホーム: 特養>」「介護老人保健施設<老健>」「認知症対応型共同生活介護<グループホーム>」「介護付有料老人ホーム」など原則介護サービスが含まれるものと、サービスは外付けとなる「住宅型有料老人ホーム」「サービス付高齢者向け住宅」他、に分けられる事になります。



高齢者住宅新聞社社長。平成4年、青山学院大学卒業後「亀岡太郎取材班グループ」の「全国賃貸住宅新聞社」に入社後、平成18年同グループ内に「高齢者住宅新聞社」を創刊、平成19年代表取締役就任。平成28年には一般向け介護情報紙「エルグリーブス」を創刊。高齢者施設や住宅の情報のほか、介護に係わる幅広い情報を提供。更に毎年東京、大阪にて開催される「高齢者住宅フェア」を主催。



週刊「高齢者住宅新聞」は高齢者の住まいと介護・医療を考える貴重な情報誌です。



月刊エルグリーブスは介護サービスを利用する高齢者とご家族、自立高齢者向けに、医療、介護、相続、趣味他生活に関連した様々な情報を発信してくれる。

網谷: いわゆる「施設系」の「特養」や「老健」「グループホーム」は本来その目的や入居者の対象があるわけなのですが、現実には混沌としています。地域の特性や一人ひとりのニーズに答えて行こうとすると画一的な対応は出来ない。

Q: 「介護老人福祉施設<特養>」のユニット化の推進と個室化が叫ばれる一方「特養の療養病床化」と言う言葉も踊りますね。

網谷: 「特養」と言うとき重度の方の受け入れ、料金の面での配慮がありましたが、実は10年以上前から「新型特養」という名で政策的には完全にユニット化と個室へのシフトが見られ、入居者の立場からすると料金的なメリットが薄れつつある。「特養」も高齢者の「住居」と言う考え方からすると流れは当然なのですが…、一方医療サイドからの療養病床を介護施設にシフトして行こうという施策や、多くの待機者がいると言われる中、所得や料金に配慮する必要もあるので市町村や事業者も苦慮をしているところです。

Q: 逆に「介護老人保健施設<老健>」の「特別養護老人ホーム化」「療養病床化」と、言う声も聴かれます。

網谷: 本来「老健」が期待されている事は「在宅復帰」「リハビリ」等です。「グループホーム入居準備軍」なのかもしれませんが（笑）。しかし、現状としては入居者の重度化と共に「特養」とあまり変わらないことをしているケースも見られます。寝たきりの方でもリハビリを希望されれば、拘縮予防、離床介助などを実施しますが、主としては介護者の介護軽減ということで入居されることが殆どです。また、「特養」入居待機中だが自宅で介護が出来ないとして利用される方もいます。「老健」は「在宅復帰」を目指していますが、その地域性によって、施設の役割も異なってしまうこともあります。過疎で施設整備が十分に行き届いていない地域にある「老健」では、「老健」でありながら「特養」の役割を期待され、「特養」と変わらない入所期間となっているところもあります。反対に、在宅サービスが充実している地域では「老健」がしっかり在宅介護を支える機関として機能しているところもあります。

Q: そしてグループホームも「ミニ特養」と言われたり、併せて医療依存度の高い方のお問い合わせや入居希望が増えてきている。

網谷: それはどのような種類の「施設」あるいは住宅でも言われている。介護施設運営のもっとも重要な課題は「医療との連携」でしょう。ユーザーのサイドからすると「介護施設=終の住み家」と言う思いもあるでしょうが残念ながら病院ではない。しかし今や非常時は勿論、看取りの対応もスタンダードに求められる。医師や看護師との24時間の医療連携や介護職員の知識や技術が求められます。来年は「医療保険」「介護保険」が同時に改訂されます、生い立ちの違う二つの制度をシムスにしていって行くチャンスになると思います。



～中原区のグループホーム「バナナ園ほりうち家」より～

## 傾聴ボランティアさんに伺いました！

「傾聴ボランティア」という言葉が最近色々なメディアに出てきます。「傾聴ボランティア」は、みなさんも経験したことがあるかと思いますが、誰かに自分の話をすることで気持ちが楽になったりしたことはないでしょうか？そうです、高齢者や被災者など悩みや寂しさを抱える人の話を聴くことで相手のケアをする活動のことです。役割としてのポイントは、相手の話をただ聞いてあげること。例えばカウンセリングでは、専門的な知識を持った者が、相手の相談に乗り問題を解決しようとはしますが、「傾聴ボランティア」は相手の話を折ったり、アドバイスしようとはしません。ただ話を聞いてもらいたくだけなのに、否定をされたりアドバイスをされたりすると、話す気がなくなってしまいう場合もあります。相手が話したい話をして、悩みなどを打ち明けることによって気持ちの整理をしてもらう、これが「傾聴ボランティア」の目的です。さて今回は中原区のグループホーム「バナナ園ほりうち家」に来ていただいているお二人の傾聴ボランティア、中里さん、日比さんにお話を伺いました。

Q: まず、お二人が傾聴ボランティアを始めようと思ったきっかけは？  
中里: 定年を迎え、少し時間に余裕ができた時「傾聴ボランティア」の存在を知り、人の気持ちに寄り添ってお話を聞く事であれば自分にも出来るかな？と、思いました。  
日比: 子供の頃、祖父の傍らで話を聴いて育ちました。楽しい話をワクワクして聴く私を見て祖父が喜んでお話をしてくれたこと、良く覚えています。自分たちの生活に少し時間ができたため、また、同じ事が利用者様と体験できれば良いなど…  
Q: さて、傾聴ボランティアのやりがい、魅力って何なのでしょう？  
中里: それまで知らなかった方との新たなコミュニケーションがとれる事。そして自分の知らない世界が広がることですね。  
日比: 人生の先輩方とお話をすることで自分自身の人生勉強ができることです。  
Q: これからどの様な傾聴ボランティアを目指していきたいですか？  
中里: 今は高齢者の方々を中心に活動中ですが、これからは、一般社会の中、例えば災害にあわれた方等の気持ちを聞いて差し上げられればと思います。  
日比: はなし相手の気持ちに寄り添い、「聴いてくれてありがとう！」と言ってもらえるよう、お話を上手に聞いて差し上げられるようになりたいです。  
Q: さて、これまで「傾聴ボランティア」をされ印象に残っている出来事は？  
中里: 最初は、なかなか打ち解けられなかった方がいらっしゃいました。時間をかけてその方とお互いを理解し合えた事があり、その時に喜びを感じました。  
日比: 普段何もお話をされない方がいらっしゃいましたが、その方の手を握ったりこすったりして差し上げると「ありがとう。お陰で心が温まった」と言って頂けました。心に残る嬉しい出来事になりました。<敬称略>



その方に関する事の全てに関心を持って聴く、絶対に「私の場合はね…」などと口を挟まないのがコツ

## バナナ園グループで働きステップ・アップをしませんか？ 介護スタッフ募集中

★常勤/非常勤、夜勤の出来る方大歓迎!!

### ■募集要項

★職種: 介護職員<①正社員/②非常勤職員> ★資格: 不問<資格なくても可也>

★給与: ① 月給: 195000円～<夜勤5日含む>

② 時給 950円～1100円<介護福祉士>夜勤1回 15,000円～16000円

※ 別途処遇改善加算交付金あり

★時間: 9:00～17:00 17:00～翌 9:00

<夜勤実労 12 時間><夜勤のみも可能>

★待遇: 社保・有休・交通費規定内支給: 月額 50,000 円迄

★勤務場所: 当社各施設

●問合せ: (株)アイ・ディ・エス 採用担当まで

☎044-455-6117



～中原区のグループホーム「バナナ園武蔵小杉」より～

## バナナ園武蔵小杉で餅つき大会！

「僕も餅つきしたい！」12月4日のお昼にバナナ園武蔵小杉の庭に集まった子供たちの声でした。毎年恒例のお餅つき大会は入居者様のご家族が企画実施をさせていただきます。1ヶ月前から計画を立て、入居者様と一緒に買い物や当日の野菜の皮むき、大根おろし、きな粉、あんこの袋詰めなどを行って当日を迎えました。今年は近隣の方にもお知らせをし86名の方が集まってくださいました。入居者様、ご家族、お隣りご近所さん、かりやど保育園の園児たちと親御さん、菟宿小学校の生徒たちと親御さん、外国人の方、通りがかりの方、職員の家族、これから当バナナ園で働くことになる未来の職員さん等。「バナナ園武蔵小杉で本物の臼(うす)と杵(きね)でお餅つき大会！」との告知の通り、きちんと消毒を施した大きな臼(うす)と杵で蒸かし上がったもち米をつき始めました。この日は11時の餅つきに合わせて入居者様全員で庭に下りていただき、まずは入居者様のお餅です。軽くついた、まだ粘りの少ないお餅を振る舞いました。またこの日の特製「豆腐と片栗粉のお餅」も用意！この特製餅2種類をご家族や職員とともに、今シーズン最初のお餅として召し上がっていただきました。次に待ちに待った子供たちやご近所さんに振る舞うお餅つきです。あっという間に子供たちが杵の前に並んでいました。「よいしょ！こらしょ！」「えい！ほっ！」と元気な掛け声が飛びます。お父さんに杵を押しさえてもらう保育園児さん、男の子に負けたくないくらいしっかりと杵を振り下ろす女の子、前の週に総合学習で来園してくれた菟宿小学校の生徒さんも頑張ってお餅つき。「ベッタン！ベッタン！」お餅がつきあがりしました。それをちょうど良い大きさにお餅を取り分けてくれるご家族様。地域の人、小学校、保育園、近隣のお年寄りもみんな笑いながらお餅がほおばりました。味は、きな粉餅、あんこ餅、からみ餅、磯辺巻きなどでした。ついてもついても飛ばうように売れていくお餅。おかずで作った野菜汁も人気が高くどんどんおかわりがやってきます。さらに「中華まん」や「小籠包」も蒸し器で蒸していきます。最後には人気の「山菜お強(おこわ)」こちらも出来上がって盛り付けるとすぐに無くなっていく人気振。こうして合計10キロのもち米とオヤツはあっという間に売れ切れ終了です。今回の「お餅つき大会」では次にあげる大きな目標がありました。

★入居者様に美味しいお餅を振る舞いたい。  
★入居者様、ご家族同士の交流を、明るい雰囲気でお手伝いしたい。  
★せつかくの施設の庭を活用して季節の行事を催してみたい。  
★日頃お世話になっている地域の人々に感謝の気持ちを伝えたい。  
★地域にお住まいの多様な環境の人たち同士の交流をする橋渡しをしたい。  
このような大それた目標で望んだ「年末恒例！バナナ園武蔵小杉お餅つき大会」でした。ほんの少しではありますが、お越しになった人の「心と胃袋」に満足や幸せや笑顔を届けることが出来たように思います。これからもバナナ園武蔵小杉ではイベントを実施していきますのでぜひお気軽にお立ち寄りください。バナナ園武蔵小杉では入居者様のお話を聞いてくださる「お話しボランティア」を募集中です。是非お気軽にお越しください。

川崎市中原区菟宿 8-54 TEL044-863-7101 バナナ園武蔵小杉



↑何と86人の方がバナナ園武蔵小杉に集結！  
←施設長がお手本で！施設のお隣さんも親子で参加→

## バナナ園グループ

【グループホーム】

- 川崎大師バナナ園 ☎044-280-2386 ●第2バナナ園 ☎044-587-1773
  - バナナ園武蔵小杉 ☎044-863-7101 ●バナナ園ほりうち家 ☎044-722-5361
  - のんびりーす等々力 ☎044-750-9203 ●のんびりーす ☎044-422-2295
  - バナナ園生田ヒルズ ☎044-911-1599 ●バナナ園生田の社 ☎044-789-5691/5692
  - バナナ園生田の泉 ☎044-789-5693 ●バナナ園横浜山手 ☎045-264-9634
- 【ばなな会新丸子:在宅介護】  
●ばなな会デイサービス新丸子 ☎044-712-5946 ●ばなな会ケアセンター☎044-712-5945

## グループホーム空室情報

空室情報、入居に関するお問い合わせは右記の各施設もしくは総合案内

044-455-6119



月刊 MONTHLY BANANA NEWS (毎月1日発行)  
通算第145号 編集:株式会社アイ・ディ・エス  
川崎市中原区新丸子町734-2 ☎044-455-6119  
<HP> <http://www.bananaen.com/>